

単元名 かけ算(1)

配当時間 16時間

単元の目標 (1) かけ算の意味や式の表し方, 倍の意味, 5, 2, 3, 4の段の九九の唱え方を理解し, いくつずつ増えるかに着目して, 5, 2, 3, 4の段の九九を構成し, それらを唱えることができる。
 (2) かけ算が用いられる場面を具体物, 言葉, 式を用いて表すことができる。
 (3) 5, 2, 3, 4の段の九九作りに関心を持ち, 進んで取り組もうとする。

標準的な展開例

02040204_001

【準備等】教科書拡大図, 数図ブロック, 九九カードを作る用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 具体物を使って, 基準量のいくつ分という意味を理解する。[下p. 2～p. 5]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○遊園地の挿絵を見て, 乗り物に乗っている人数を調べる ○人数の求め方について考える。 ○「3この4つ分」「6この3つ分」を数図ブロックで表す。 ○単元の学習課題をつかむ。 ★5この3つ分や2この5つ分のような数のあらし方や計算のしかたをしらべていこう。 <p>2 かけ算の意味と, かけ算の式の読み方, 書き方について理解する。[p. 6・p. 7]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 ★同じ数のいくつ分かで数をあらわそう。 ○「みんなで考える問題」に取り組み, 「かけ算」の用語や記号, 式の表し方を知る。 ○「練習問題」に取り組む。 <p>3 かけ算の用いられる場面を式で表し, 累加で求める。[p. 8・p. 9]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 ★かけ算のしきにかいて答えをもとめよう。 ○「みんなで考える問題」を読み, かけ算の式に表し, 答えを求める。 ○「練習問題」に取り組む。 <p>○身の回りから, かけ算の式で書けるものを探し, 発表する。</p> <p>4 倍を使って問題を解く。[p. 10・p. 11]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○倍の意味を知る。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★何倍になるかを考えて, かけ算のしきにかいてもとめよう。 ○「みんなで考える問題」に取り組む。 ○「練習問題」に取り組む。 <p>5～7 5の段の九九を構成してその唱え方を知り, 練習する [p. 12～p. 14]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○$5 \times \bigcirc$のかけ算について考える。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★かけ算の答えがいくつずつふえていくかをしらべよう。 ○5の段の九九を構成する。 ○5の段の九九の唱え方を知る。 ○5の段を作り, 覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書拡大図を使い, 基準量の「いくつ分」についての理解を図るため, 数図ブロックの操作に重点を置いて学習を進める。 ・数図ブロックを使って, 乗り物に乗っている人数を調べる。 ・1年生で学習した「2とび」や「5とび」などを想起させる。 ・数図ブロックを並べながら, 「何のいくつ分」の表し方に慣れさせる。 【評】基準量のいくつ分という見方で数える活動を通して, 「知識・技能」を評価する。 ・同じ数ずつ乗っている乗り物を見付けさせる観覧車は, 同じ数ずつ乗っていないということも意識付ける。 ・同じ数のいくつ分かを意識させる。 ・「4個の3つ分」のことを「4×3」と書き「4かける3」と読むことを知らせる。 ・記号の書き方に注意させる。 ・$4 + 4 + 4$ (累加) で求められることに気付かせる。 ・累加の考え方で, かけ算の答えを求めさせる 【評】乗法の式で表す活動を通して, 「知識・技能」を評価する。 ・かけ算の答えは, たし算 (累加) で求めさせる。 ・かけ算で立式させ, 累加で答えを求めさせる 【評】かけ算で立式し, 累加で答えを求める活動を通して, 「知識・技能」を評価する。 ・ペア活動をするとうよい。 ・連続量を基に具体物を用いて, 視覚的に捉えることができるようにする。 ・4 cmの2つ分, 4 cmの2倍, 4×2を結びつけて考えさせる。 ・かけ算と倍という言葉に関連付けて考えさせる。 【評】何倍になるかを考え, かけ算で求める活動を通して, 「知識・技能」を評価する。 ・具体物を使って乗数が1増すごとに積が5ずつ増えることに気付かせ, 5の段の九九を構成させる。 ・ジェットコースターの挿絵から「5の〇つ分」で表される場面をつかませる。 ・答えがいくつずつ増えていくのかに着目させる。 ・このように唱える言い方を九九ということを知らせる。 ・p. 139「九九の円ばん」を作って覚えさせて

<p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1 箱に 5 個ずつ入ったコップの 8 箱分の数を求める問題に取り組む。 </p> <p>8～9 2 の段の九九を構成してその唱え方を知り，練習する [p. 15・p. 16]</p> <p> <ul style="list-style-type: none"> ○ $2 \times \bigcirc$ のかけ算について考える。 ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 5 のだんと同じように，答えがいくつずつふえていくかをしらべよう。 ○ 2 の段の九九を構成する。 ○ 2 の段の九九の唱え方を知る。 ○ 2 の段の九九を覚える。 ○ 「みんなで考える問題」に取り組む。 ○ 「練習問題」に取り組む。 </p> <p>10～11 3 の段の九九を構成してその唱え方を知り，練習する。 [p. 17・p. 18]</p> <p> <ul style="list-style-type: none"> ○ $3 \times \bigcirc$ のかけ算について考える。 ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 答えがいくつずつふえていくかをしらべて，3 のだんの九九をつくろう。 ○ 3 の段の九九を構成する。 ○ 3 の段の九九の唱え方を知る。 ○ 3 の段の九九を覚える。 ○ 「みんなで考える問題」に取り組む。 ○ 「練習問題」に取り組む。 </p> <p>12～13 4 の段の九九を構成してその唱え方を知り，練習する。 [p. 19・p. 20]</p> <p> <ul style="list-style-type: none"> ○ $4 \times \bigcirc$ のかけ算について考える。 ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 4 のだんの九九をつくろう ○ 4 の段の九九を構成する。 ○ 4 の段の九九の唱え方を知る。 ○ 4 の段の九九を覚える。 ○ 「みんなで考える問題」に取り組む。 ○ 「練習問題」に取り組む。 </p> <p>14 被乗数と乗数の意味を理解する。 [p. 21]</p> <p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「みんなで考える問題」を読み，かけ算の問題を考える ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 1 つ分の数は何かを考えてかけ算のしきをつくろう。 ○ 連続量の問題に取り組む。 ○ 「練習問題」に取り組む。 </p> <p>15 練習問題に取り組む。 [p. 22]</p> <p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「れんしゅう」に取り組む。 </p> <p>16 単元を振り返り，確認問題に取り組む。 [p. 23]</p> <p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「たしかめよう」に取り組む。 </p>	<p> <ul style="list-style-type: none"> ○ もよい。 ・ かけ算の答えは，たし算（累加）ではなく，九九を使って求めさせる。 ・ ゴーカートの挿絵から「2 の \bigcirc つ分」で表される場面をつかませる。 ・ 「2 とび」の数え方だけでなく，乗数が 1 増えると，積が被乗数分増えることに気付かせる。 ・ 九九カード等を使って，習熟させる。 ・ 立式させ，2 の段の九九を使って答えを求めさせる。 ・ 何がいくつ分なのかを意識して考えさせる。 ・ p. 69 の「カードれんしゅう」を参考に，習熟させる。 【評】 2 の段の九九を使って問題を解く活動を通して，「知識・技能」を評価する。 ・ コーヒーカップの挿絵から「3 の \bigcirc つ分」で表される場面をつかませる。 ・ 九九カード等を使って習熟させる。 ・ 立式させ，3 の段の九九を使って答えを求めさせる。 ・ p. 69 の「カードれんしゅう」を参考に，習熟させる。 【評】 3 の段の九九を使って問題を解く活動を通して，「知識・技能」を評価する。 ・ ウォータースライダーの挿絵から「4 の \bigcirc つ分」で表される場面をつかませる。 ・ 九九カード等を使って習熟させる。 ・ 立式させ，4 の段の九九を使って答えを求めさせる。 ・ p. 69 の「カードれんしゅう」を参考に，習熟させる。 【評】 4 の段の九九を使って問題を解く活動を通して，「知識・技能」を評価する。 ・ 基準量が後に示された問題を扱う。 ・ 「3×5」なのか「5×3」なのかを考えさせる。 ・ 「何個のいくつ分」の表し方を考えさせ，それに合わせて立式するよう助言する。 ・ 5×3 だとどんな意味になるかを考えさせる。 ・ 3×4 と 4×3 の違いについて考えさせる。 ・ 正しく立式できているかを確認し，必要に応じて個別指導する。 【評】 被乗数と乗数の意味を理解し，立式する活動を通して，「思考・判断・表現」を評価する。 ・ 個別指導を重点的に行う。 【評】 「れんしゅう」に取り組む活動を通して「知識・技能」を評価する。 ・ 問題を通して，九九を正確に唱えることができるように繰り返し練習させる。 ・ 個別指導を通して，単元の学習内容の定着を </p>
---	--

○学習の振り返りを書く。

図る。

- ・自己評価をし、不十分なところは教科書で振り返らせる。

【評】問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。

- ・かけ算（5，2，3，4の段）について分かったことや面白かったこと，もっとやってみたいことなどを書かせる。

【 備 考 】

本単元は，2年生になって一番楽しみにしている児童が多い学習である。かけ算が使われる場面を理解し，児童の操作活動を中心にして，九九（5，2，3，4の段）を覚え，それを使って問題解決をする学習である。かけ算の意味「基準量のいくつ分」をはっきりと意識付けることが大切である。単元を構想するに当たっては，どうしても九九を覚えることに時間を取られ，指導の重点もそこに置かれがちである。しかし，かけ算の意味理解は，今後の算数学習の基礎となることなので，しっかりと指導しなければならない。